



認定NPO法人
ヒマラヤ保全協会

IHC-JAPAN: The Institute for
Himalayan Conservation Japan

Shangri-la

シャングリラ



現地住民による
森林保全 



100円でヒマラヤに1本の  を植えよう!

One coin One tree on Himalayan, tomorrow will be in your hands.

現 地 活 動

現地住民による森づくりが進んでいます



2015年度は、あわせて7万2,805本の苗木を植樹し、植林地域と苗数内訳は、ダウラギリ地域（ドバ村11,030本・ベガコーラ村9,193本・ダグナム村7,947本・ジーン村13,377本・バランジャ村22,746本）、アンナプルナ地域（サリジャ村8,512本）でした。

今年度、植樹本数は約5万5,000本の予定しており、今までのダウラギリ地域への植林は総数として約113万本になります。

サリジャ村、ドバ村、ダグナム村、ベガ村は植林予定をほぼ終了です。



現地スタッフのチトラさん

ヒマラヤ保全協会が長年続けて来た活動で、現地住民との信頼関係が築きあげられ、日本の里山に見られるような森林保全の重要性が伝わりました。今まで日本人スタッフを筆頭に進めていた活動は、現地の村長、苗畑管理人、現地スタッフに引き継がれ、今まさに現地住民による森づくりが進められています。

適宜モニタリング、調整を行いながら現地住民をサポートし、植林をこれまで通り進めてまいります。

苗をひとつひとつ植林します



苗畑管理人によって植樹する苗が育てられます。



植林は村人達によって、継続されます。



子供たちも一緒に植林します！



植林作業はみんなで力を合わせて行います！

森林保全のためのヒマラヤイラクサを用いたビジネスの可能性調査へ

ヒマラヤ保全協会では、ヒマラヤイラクサより作られた生地によって収入向上事業が成功し、現地の女性達の収入向上のみならず、女性達の自信や家族内での地位向上などのQOLの向上を支援することができました。

今回、公益財団法人 国際緑化推進センター (JIFPRO) の助成により、さらにこのヒマラヤイラクサの可能性をさぐる調査を行っております。

これは、地球規模での森林破壊を防ぐための、途上国の森林保全に貢献し得る森林ビジネスの調査です。このヒマラヤイラクサによって地域住民が経済的価値を得られれば、森林保全の持続的運営のサポートにも繋がります。

調査の結果など、またご報告いたします！

JIFPROのホームページ

http://www.jifpro.or.jp/Top_J.html

(文責：清田)

ヒマラヤイラクサ→漢字で「刺草」と書く通りに、触れると手がチクチクといたみます。加工は枯れたものを使用します。

↓ヒマラヤイラクサより作られた繊維



復 興 支 援

給水パイプラインの普及支援

7村の住民1,425人の方への生活用水を届けます



ドラカ村は2015年4,5月に起きた地震の影響で大規模な土砂崩れの被害を受けました。住民への聞き取り調査の結果、地震により生活用水の水源が埋没、貯水施設も崩壊したため、生活用水の復旧が緊急に必要との要請がありました。さらに住民との協議の結果、以下の支援を確定しました。

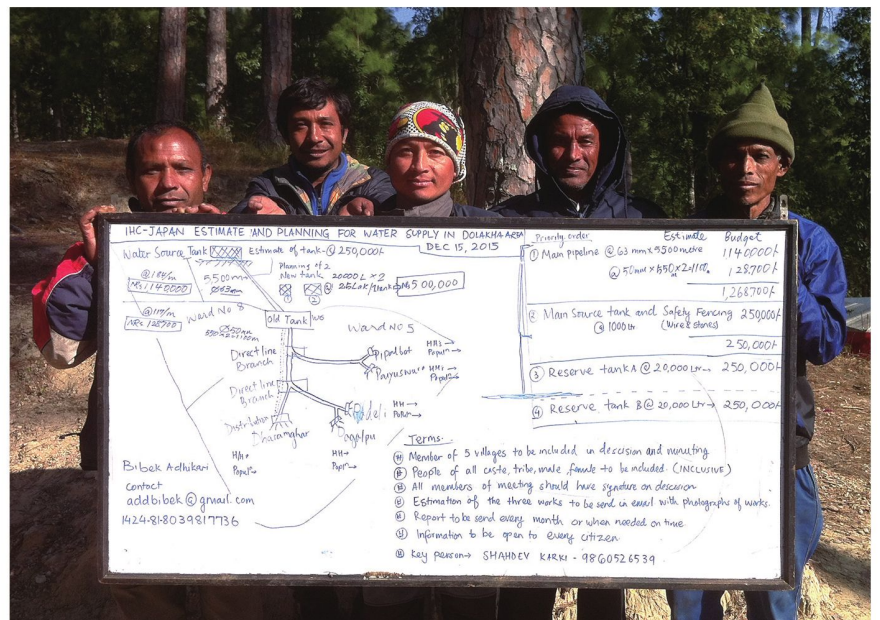
- ①水源の掘り起こし、
水源から7 km離れた村までのメイン
パイプラインの設置
- ②貯水施設施設の再建
- ③分岐用貯水タンクの設置



現地での聞き取り調査で出会った女性は、片道3時間かけて、1日2回も水を汲みにきていることが分かりました。

この支援により7村1,425人の住民に再び生活用水が届く計画です。

現地の水管理を18年間してきたエンジニア、クリシュナさんに作業の指揮をお願いし、現地住民が主体とした再建計画をもとに作業が開始いたしました。



各村の水管理人による話し合いの様子（写真右がクリシュナさん）

水管理のエンジニアを中心に、ジャナスラムダンで復旧作業



地震の土砂崩れにより埋没した水源を掘り起こし、崖崩れの再発防止用工事を実施



水源近くの老朽化した貯水タンクを復旧



支援は設営に必要な資材などに支払われ、建築作業は水管理のエンジニア、クリシュナさんを中心に、村人達によるシャナスラムダン(「人的」「労働」「財力」を組み合わせたネパール語で、無償協働作業のこと)で進められました。



メインパイプ設置を住民の皆で行いました。



分岐用貯水タンクも無事設置することができました。本当に沢山のご支援ありがとうございました！

(※現在、義援金の募集は行っておりません。)

(文責：清田)

国内活動

企業とマルチステークホルダーの勉強会に参加



「経済人コー円卓会議日本委員会」の企業とマルチステークホルダーの勉強会である「ステークホルダー・エンゲージメントプログラム」にご招待いただき、

「SDGs13：気候変動へのアプローチ【森づくりは人づくり】」という題目で、講演をいたしました。

関連URL

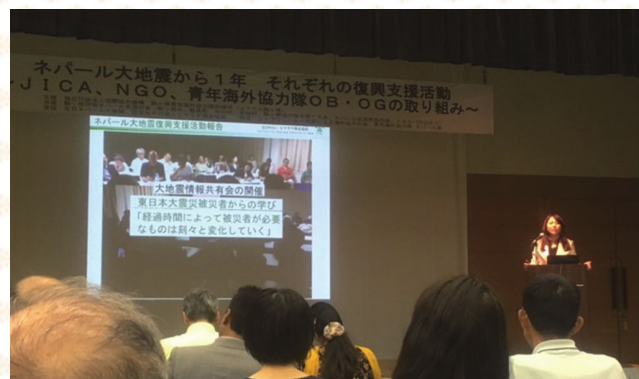
http://crt-japan.jp/project-overview/stakeholder_engagement/program2016/

SDGsー持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）は、2015年9月、国連サミットで採択され、「持続可能な開発」を目指す、先進国も途上国も含めた国際社会共通の目標です。

JICA駒ヶ根にて、復興支援報告

2016年6月18日(土)JICA駒ヶ根（長野県）にて、「ネパール大地震から1年。それぞれの復興支援活動～JICA、NGO、青年海外協力隊OB・OGの取り組み～」が行われ、当会の復興支援と現在の状況を報告しました。

ネパールポカラ市と姉妹都市である駒ヶ根市そして地元のネパール交流市民の会、協力隊を育てる会、JICA駒ヶ根の連携ネパールへの熱い想いが詰まったイベントでした。



京都、福知山母親大会での講演

2016年7月23日(土)京都府福知山市で開催された福知山母親大会にて「ヒマラヤに暮らす女性たちの自立を支えて」という題目で、事務局長が講演いたしました。90名を超える方々にお集り頂き、日本から遠く離れたヒマラヤの女性達の活躍に共感して頂いた様子でした。

環境や境遇は違えど、人が輝いていくことやそれを支える活動は心を打つものがあると実感しました。



総会の報告



2016年6月19日(日)モンベルクラブ渋谷店の5階サロンにて2016年度ヒマラヤ保全協会会員総会が行われました。

長年、ヒマラヤ保全協会が続けてきた植林事業によって、現地スタッフ・苗畑管理人が技術を習得し、また村人達へも森林保全の重要性が浸透いたしました。今後は日本人スタッフを筆頭に進めていた活動からスタイルをか変え、現地住民の経験が国の森づくりとして活かされるよう支援・サポートしていくことが確認されました。

この度、事務所が渋谷区から新宿区に移転したため、それにとまう定款変更についても確認されました。（詳細は8ページをご覧ください）

イベント 報告☆



ネパール料理&活動報告イベント 昼ダルvol.4 & 笑いヨガ

4月16日
代々木公園、AMA 代々木店



今回は理事の大平さんによる笑いヨガを行いました！笑いヨガは簡単で楽しく健康になれるので、おすすめです！

笑いヨガの後、みんなで食べたダルバートも格別でした。ご興味のある方は、次回ぜひご参加下さい！

交流山登りイベント みんなでパハール in 安達太良山！

7月30日、31日 福島県二本松市



日本百名山の一つである安達太良（あだたら）山に登って参りました！天候に恵まれ、素晴らしい景色を見ながら、参加者の皆さんと交流することができました。

理事の佐久間さんによるガイドで、初心者の方も楽しめる山交流イベントになりました。次回もお楽しみに！

←薬師岳山頂からの見晴らし。ロープウェイを降りてからすぐに「ほんとの空」が見られました。

→安達太良山山頂まで、2時間ほどで到着。初心者でも十分楽しめる距離でした。



仙台から会員の松山さん(前列左)が駆けつけて下さり、スイカと桃の差し入れをして下さいました！参加者でも美味しく頂きました。心温まるサプライズを本当にありがとうございました！



宿泊先にてKJ法を行い、参加者同士の意見交換を行いました。たくさんの意見を共有でき、本当に有意義な時間でした。

(文責：清田)

初代事務局長、鎌田さんに会いに行きました！



現在、鎌田さんは三重県伊賀市種生（たなお）にて、築200年の古民家を地域づくりの活動の場として宙の学舎（そらのいえ）を運営しています。

ヒマラヤの山麓の暮らしのように自然から沢山のことを学べる場になっていました！

青山学院大学の学生インタビュー



授業の一環で、NPOへのインタビューを実施していた青山学院大学の学生達が、ヒマラヤ保全協会にコンタクトして下さいました！

活動の紹介から就職活動の話など、沢山お話できました。またイベントなどに遊びに来て下さい！

事務局 だより

会報をPDFデータにてお送りします！

紙資源削減のため、ご希望者の方に会報をPDFデータにて送信いたします。

(※厳密にはPDFデータが掲載されているURLをお知らせします)

ご希望の方は、info@ihc-japan.org まで

送信希望のメールアドレスをお送り下さい！

次号よりメールにて会報のPDFデータをお送りします。



事務所移転のお知らせ

事務所住所と電話番号が以下の通り、変更となりました。

〒169-0051

東京都新宿区西早稲田1-6-1

早稲田キャンパス9号館

8階808号室

TEL：080-3570-8458

e-mailアドレス、ホームページアドレスの変更はありません。

相馬理事の研究室に事務所を移転しておりますが、現在、ご訪問は受け付けておりません。お問い合わせは、e-mail もしくは電話にてご連絡下さい。

寄付で支援する

100円で1本の木がヒマラヤに植えられます!!

1口 3,000円から何口でも結構です。

下記の振込み先にご送金ください。

マンスリーサポーターになる

毎月 1,000 円 からマンスリーサポーターになることができます。マンスリーサポーターの皆様には、「活動報告書&計画書」年1回)をお送りします。

会員になる

年会費： 個人会員 5,000円 ・ 団体会員 30,000円
会員の皆様には、現地の活動が盛りだくさんの会報『シャングリラ(Shangri-la)』をおとどけします。

■ みずほ銀行新宿南口支店 普通2005209
特非) ヒマラヤ保全協会

■ 郵便振替 00100-0-709154
ヒマラヤ保全協会

※銀行振込みをご利用いただいた場合は、ご氏名(ふりがな)とご住所を、e-mailにてご連絡ください。

※国税庁より「認定NPO法人」として認可されておりますので、皆様からのご寄付は、税法上の特例措置の対象となります。

100円で1本の木をヒマラヤに植えよう！ ご支援お待ちしております！

シャングリラ第97号 2016年9月11日発行 編集・発行 認定NPO法人 ヒマラヤ保全協会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田キャンパス9号館 8階 808号室

TEL: 080-3570-8458 e-mail: ihcjpn@ybb.ne.jp ホームページ: <http://www.ihc-japan.org>